



1月号

No.468



(本校 HP はここから)

横浜市立都田小学校

令和5年 1月 10日

子どもの思いから学びをつくる

校長 今村 行道

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

昨年12月中に、「はばたけ都田の子発表会」が行われました。3年ぶりの開催となった本年度は、体育館を会場に、学年ごとに参観する形をとりました。個別支援学級は生活単元学習、1・2年生は生活科、3年生以上は各クラスの総合的な学習の時間で学んでいる内容を中心に発表しました。

どの発表も印象的で、相手意識をもつことの大切さを改めて実感しました。個別支援学級では、担当している教師の伴奏に合わせて全員で「にじ」を歌う姿に大きな成長を感じることができました。また他の学年では、自ら疑問に思ったことや調べたことを一生懸命伝える姿を見ることができたことも収穫でした。

特に、総合的な学習の時間の発表では、身近な生活から「問い」を見だし、課題を立て、自ら情報を集め、整理して、表現する姿が見られました。地域に新しくできた都田地区センターに興味をもち、足を運んで、施設で見つけた「バリアフリー」について調べ、そこから「点字」のもつすばらしさを体験活動を通して伝える姿は、まさに、この学習で求められている資質・能力を育成することにつながるものでした。

そして、この学習の中で、子どもはいろいろな「ひと」と出会いました。郵便局長としてお話いただいた本校PTA会長の相澤さん、出前授業をしていただいた都筑清掃工場の方々、製造している製品から工場の由来まで詳しくご説明いただいた第一カーボン工場の方々、寺に伝わる深い歴史についてお話いただいた宗忠寺の夏見さんなど、多くの「ひと」とつながることができたことも、この学習のよさです。

決められた内容を学ぶのではなく、子ども自身が思いをもち、学びを見つけ、追究することが新時代を生きる子どもに必要なこととされています。取り組む内容は様々ですが、育てる資質・能力は同じです。このような学習を通して、子どもが自ら本気で思考する力を育てていきます。

